

12月定例会

●会期 12月8日～12月17日(10日間)

部制廃止の行政組織条例改正案を全会一致で可決



12月定例会最終日(12月17日)

今回は
市長提出議案 31件
請願 3件

【議案第3号】 盛岡市及び八幡平市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について

盛岡広域8市町で一体的な発展を図る

盛岡市と八幡平市が連携して盛岡広域圏における経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化と生活関連機能サービスの向上を図るために、連携協約を締結しようとするものです。

Q 連携協約の締結で人口が盛岡一極集中にならないか。
A 盛岡広域圏から人口を流出させないようにするもので、そのために、公共交通網の構築に取り組む。



1月15日に盛岡市で開催された連携中枢都市圏連携協約締結式

【議案第4号】 第2次八幡平市総合計画基本構想の策定に関し議決を求めることについて

これから10年間の八幡平市の方向性

新たな市勢発展のため、まちづくりの理念や、将来像を実現する施策の大綱を示す第2次八幡平市総合計画基本構想を策定しようとするものです。計画期間は28年度から37年度までの10年間。市の将来像は「農と輝の大地」とともに暮らし、しあわせ感じる八幡平市です。

Q 基本構想の中で教育振興基本計画の部分が含まれていないが。
A 具体的なものは基本計画の中で示して位置付けたい。
Q 同時に策定を進めている総合戦略との関係性は。
A 総合計画は市政全般にわたる政策や施策の基本的な方向を定めた計画であり、総合戦略は人口減少に歯止めをかけることを目的に策定するものである。

【議案第5号】 八幡平市行政組織条例

意思決定の迅速化を図る行政組織改革

行政組織の見直しに伴い、所要の整備をしようとするものです。28年度の主な見直し内容は次のとおりで、16課1室8事務局体制となります。

- ▼意思決定の迅速化を図るため、企画総務、市民福祉、産業建設の3部を廃止する。
- ▼市長公室を企画財政課とし、秘書政策係、地域戦略係、広報広聴係、財政係を置く。
- ▼新たに防災安全課を置く。
- ▼農政課を農林課とする。
- ▼松尾総合支所を廃止するとともに、西根、安代総合支所の課を廃止して係だけを置く。

Q 組織を改正することでのメリットは。
A 第2次総合計画の着実な実施と、新たな施策に迅速に対応ができる組織を構築するというのが狙いである。窓口業務は変更なく対応できるように組織にした。



4つのデイサービスセンターを4月から民間移管(西根デイサービスセンター)

【議案第13号】 八幡平市老人デイサービスセンター条例を廃止する条例

老人デイサービスセンター民間移管

【議案第14・15・16・17号】 財産の無償譲渡に関し議決を求めることについて

西根デイサービスセンターと西根北部デイサービスセンターは社会福祉法人西根会(議案第14・15号)、松尾デイサービスセンターは同法人みちのく協会(議案第16号)、安代デイサービスセンターは同法人安代会(議案第17号)に4月1日から無償譲渡して移管することに伴い、八幡平市老人デイサービスセンター条例を廃止しようとする(議案第13号)ものです。

【議案第18号】 八幡平市看護師養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例

看護師確保のため貸し付け要件緩和

市内に住所がなくても貸し付けを受けられるように要件を緩和しようとするものです。

Q 従来どおり市民だけのほうがよいのではないか。
A PRなどとしても貸し付けを受ける人が少ない。広く募集し、その後定住していただければと思っています。

【議案第21号】 八幡平市安代林業センターに係る指定管理者の指定について

安代林業センター3年間の指定管理

安代林業センターを(株)だんぶり(鹿角市)に管理させようとするものです(期間 4月1日～平成31年3月31日)

※平成28年1月15日に(株)だんぶりから指定管理申請書の撤回書が提出されました

【議案第22号】 平成27年度八幡平市一般会計補正予算(第5号)

6億4717万円増額した補正予算

歳入、歳出それぞれ6億4717万8千円を増額し、累計210億6106万2千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼八幡平市除雪要支援世帯助成金交付モデル事業助成金 150万円
- ▼第54回農林水産祭天皇杯受賞記念開催補助金 100万円
- ▼都市計画道路大更駅前線整備事業 1765万9千円

Q 八幡平市除雪要支援世帯助成金交付モデル事業助成金の内容は。
A 地域による見守りに重点を置いた除雪支援事業で地域の課題を検証する。

A 大更駅前線沿道整備土地画整理事業水路整備工事はどうして必要になったのか。
Q 区画整理事業の本格化の前に、混雑が予想される水路整備を先にするものである。

A 大更駅前線沿道整備土地画整理事業水路整備工事はどうして必要になったのか。
Q 区画整理事業の本格化の前に、混雑が予想される水路整備を先にするものである。

一般質問

10人が市政を問う

渡辺義光 議員 (新政クラブ) …07

小学校からの英語教育の充実について
フットパスと元気なまちづくりについて
新庁舎と西根総合支所の利用状況について

山本 榮 議員 (日本共産党) …08

土木林業課廃止の撤回について
冬期間の高齢者福祉について

井上辰男 議員 (八起会) …08

八幡平の観光について
地域おこし協力隊について
災害時における福祉避難所の協定について

高橋 守 議員 (八起会) …09

外国人研修生の受け入れについて
小中学校適正配置計画案説明会の内容について
CCRCへの取り組みについて

工藤 剛 議員 (新政クラブ) …10

旧東大更小学校の跡地利用について
空き家対策について
市内の防犯対策について

遠藤公雄 議員 (自由クラブ) …10

畜産 (大型畜種) 振興について

北口和男 議員 (無会派) …11

行政組織機構改革について
市本庁舎設備について
温泉施設入浴料について

古川津好 議員 (緑松会) …12

条例の整備について
商工事業の支援について

米田定男 議員 (日本共産党) …12

市総合計画基本構想 (案) について

高橋悦郎 議員 (日本共産党) …13

八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略および人口ビジョンについて

【請願第5号】 市宮上坊牧野の南側付近における豚舎建設計画の中止を求める請願

【請願第6号】 田山グラウンドとその周辺にパークゴルフ場整備を求める請願

【趣旨採択】 豚舎建設を中止の請願は「趣旨採択」

【教育民生常任委員会が審査】
▼委員会の審査結果 趣旨採択すべきもの (豚舎建設での事業者の手順などの瑕疵は認められないが、企業として住民に寄り添い丁寧な事業を進めることが望ましい)
▼本会議議決結果 趣旨採択

【賛成討論】 米田定男議員
将来の世代にわたり、貴重な自然や環境を保全したいという声は当然であり、事業実施に当たっては、事前に地域との合意を前提にすべきものであることから原案に賛成する。

【賛成討論】 米田定男議員
田山地区へのパークゴルフ場の整備という立場で、現時点では田山グラウンドへも選択肢の一つとして維持すべきであることから原案に賛成する。

【総務常任委員会が審査】
▼委員会の審査結果 不採択すべきもの (田山地区にパークゴルフ場を整備するのは望ましいが、田山グラウンドは地区住民などの各種スポーツ活動に使われており、パークゴルフ場を整備する場所には適さない)
▼本会議議決結果 不採択

【請願第5号】 市宮上坊牧野の南側付近における豚舎建設計画の中止を求める請願

【請願第6号】 田山グラウンドとその周辺にパークゴルフ場整備を求める請願

【趣旨採択】 豚舎建設を中止の請願は「趣旨採択」

【教育民生常任委員会が審査】
▼委員会の審査結果 趣旨採択すべきもの (豚舎建設での事業者の手順などの瑕疵は認められないが、企業として住民に寄り添い丁寧な事業を進めることが望ましい)
▼本会議議決結果 趣旨採択

【賛成討論】 米田定男議員
将来の世代にわたり、貴重な自然や環境を保全したいという声は当然であり、事業実施に当たっては、事前に地域との合意を前提にすべきものであることから原案に賛成する。

【賛成討論】 米田定男議員
田山地区へのパークゴルフ場の整備という立場で、現時点では田山グラウンドへも選択肢の一つとして維持すべきであることから原案に賛成する。

【総務常任委員会が審査】
▼委員会の審査結果 不採択すべきもの (田山地区にパークゴルフ場を整備するのは望ましいが、田山グラウンドは地区住民などの各種スポーツ活動に使われており、パークゴルフ場を整備する場所には適さない)
▼本会議議決結果 不採択

平成27年第4回定例会 賛否の分かれた議案などの採決結果		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	議決結果	
議員名		工藤 隆一	田村 善男	畠山 康	井上 辰男	立花 安文	大森 力男	渡辺 義光	工藤 剛	遠藤 公雄	古川 津好	小野 寺昭一	田村 孝	山本 榮	高橋 守	高橋 悦郎	関 善次郎	大和田 順一	高橋 光幸	米田 定男	北口 和男	伊藤 一彦		
議案番号・件名																								
請願第5号	市宮上坊牧野の南側付近における豚舎建設計画の中止を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
請願第6号	田山グラウンドとその周辺にパークゴルフ場整備を求める請願	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※賛成=○、反対=● 工藤直道議長は採決に加わりません。
請願第5号は委員会の審査結果(趣旨採択)に対する採決、
請願第6号は原案に対する採決の結果となります。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(新政クラブ)

渡辺議員 寺田小学校で外国語指導助手(ALT)による英語と郷土の民話を連動させた学習が新聞で紹介された。英語は平成32年から小学3年生の正式教科実施が進められているが、どのように市民の英語教育の充実を図る考えか。

市長 増加傾向の市内に宿泊する外国人観光客のニーズに対応していくため、今後は観光施設と市民が一体となった外国語を取り入れたおもてなしが必要である。
教育長 寺田小学校での活動は、今後の小学校英語教科化への先行実践となる。

小学校からの英語教育

学習活動に力を入れる

フットパスの実施
渡辺議員 地域の歴史や風景を楽しみながら歩くフットパスは、まちの活性化や文化・観光振興に有効である。市内12の花輪線の駅の特長を活かしたコースを設定してはどうか。

市長 フットパスはまちおこしに有効な手段と考える。観光プラットホームの活動として検討していきたい。
西根総合支所の利用
渡辺議員 西根総合支所の空きスペースを各種団体に開放する考えは。



ALTによる英語授業
(寺田小学校)

市長 一部を八幡平市芸術文化協会などが一時的に使用しているが、現在は新岩手農協本所事務所としての利用を協議しているところである。
副市長 西根地区市民センターを貸すことについて検討している。



やまもと さかえ
山本 栄 議員
(日本共産党)

山本議員 安代総合支所の課の廃止は、合併協議会で総合支所方式を選択したことに反するのではないかと。市長 総合支所の課を廃止しても、主な業務を担当する係を置くことで総合支所としての役割に変更がないと考えている。

に一定数の職員配置が必要と考えている。市内全域の均衡ある振興を図りつつ、人材の適正配置に努める。
高年齢者世帯が増加 除雪の支援が必要
山本議員 冬期間に除雪ができないため、孤立している

る高齢者が出ている。高齢者福祉の立場での除雪支援が必要ではないかと。
市長 高年齢者世帯が増加する中で、孤立世帯を作らないことは早急に取り組むべき課題である。本年度は安代地区を対象に、地域による見守りに重点を置いた除雪支援のモデル事業を実施する。
山本議員 冬期間共同で暮らせる高齢者住宅の設置は、市長 地域条件に合う事業を展開し、高齢者が安心して生活していくことができ環境づくりを進めていかなければならないと考える。



28年度からは廃止となる安代総合支所土木林業課



いのうえ たつお
井上辰男 議員
(八起会)

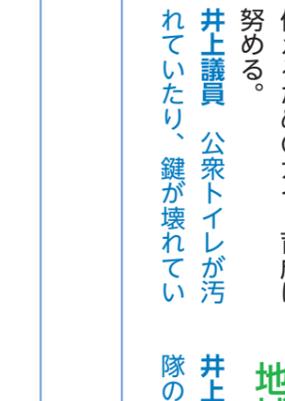
井上議員 観光客に八幡平の歴史と自然を満喫し、充実した観光を楽しんでもらうための姿勢や考え方は。市長 観光資源を観光客に伝えるためのガイド育成に努める。
井上議員 公衆トイレが汚れていたり、鍵が壊れていたりしている。どのように対応していくか。産業建設部長 清掃頻度の見直しや、破損箇所は即座に対応する。

地域おこし協力隊
井上議員 地域おこし協力隊の隊員数と活動内容は。市長 6人の隊員が地域活動と交流支援や観光振興の支援、農林業の支援で活動を展開している。
井上議員 隊員が活動する上で相談できる環境づくりが大事ではないか。地域振興課長 日常的な相談や隊員同士の人間関係に

も気を配りながらフォローしていく。
井上議員 隊員は3年後の保証はない。定住してなりわいの道筋を立てるため、どのようなサポートをしていくか。
地域振興課長 定住に向けては、起業するのに必要な研修や資格の取得などを支援していきたい。
福祉避難所の協定
井上議員 災害時の福祉避難所開設の現状は。
市長 受け入れ可能な人数は13施設で267人となっている。



12月12日に開催されたネイチャーガイド育成セミナー



たかはし まもる
高橋 守 議員
(八起会)

外国人研修生は労働力不足対策
高橋議員 外国人研修生の受け入れについての考え方と今後の対応は。市長 労働力不足は大きな課題だと認識している。国に対してどのように実態を

訴え、新たな制度設計を要望していくかにかかっており、市としてできるものは何かを模索したい。
CCCRC構想は地方創生の光明
高橋議員 CCCRCの取り組みは、早い時期に方針を

公にし、計画実現に向けて今後必要になる出資者や企業などへのアピールを考えるべきではないかと。
市長 計画実現には民間企業などの協力が不可欠であり、できるだけ早い時期に八幡平市の取り組みの方針を明らかにし、広くアピールができるように進めていきたい。
※CCCRC継続的なケア付きリタイアメントコミュニティ。大都市の高齢者が健康なうちに地方に移り住み、介護や医療が必要になる終末期まで継続的なケアや生活支援サービスを受け替わらせる共同体



心配をよそに元気な子どもたち

統合は地域との合意？

同意を得た上で進める



工藤 剛 議員 (新政クラブ)

旧東大更小学校の利活用 地元の協議会と情報交換



今後の利活用が注目される (旧東大更小学校体育館)

工藤議員 旧東大更小学校の今後の利活用の計画は。市長 東大更小学校跡地活用協議会と情報交換を行いながら、策定を進めている。「市公共施設等総合管理計画」の中で方針を示したい。**工藤議員** 体育館の貸し出し管理だけでも大更コミュ

ニティセンターが窓口で行うことができないか。**市長** 早急に検討する。**工藤議員** 体育館の暖房設備や冬期間のトイレが使用できないが、修理の予定はないのか。**副市長** 暖房は現時点ではブルーヒーターなどでの対応

応となる。トイレは使えるように早急に対応したい。避難所でもあり、ワックスがけもして管理していく。**工藤議員** 校舎も現在は学童保育クラブ以外は利用できないが、地域住民が歩いて集まれる場として活用させてほしい。

安全にくらすため
工藤議員 事件が起きたときに早く情報を集めることが解決の近道であることから、PTAや消防団で利用している防犯や防災のメールを希望する市民に配信してはどうか。
総務課長 来年の防災関係のデジタル化にあわせてシステム構築を検討する。**工藤議員** 市内業者からの寄贈でフーガの広場に防犯カメラが4台設置されたが、もっと増やしてもらいたい。**市民福祉部長** 効果を検証しながら今後検討していく。



遠藤 公雄 議員 (自由クラブ)

放牧地の現状と改善策 草地更新など計画的に



畜産振興に公共放牧野の役割は重要 (長久保牧野での黒毛和種の放牧)

遠藤議員 公共放牧地の今後の取り組みや方向性は。**市長** 公共放牧野の利用率向上が飼養頭数の増頭に大きく関わることから、計画的に草地更新などの整備が必要と考える。**農政課長** 採草地であるが、デントコーンを使いたいと

いう要望があれば検討して有効利用を図りたい。**遠藤議員** 草地更新などの管理に第三セクターを設立して進めてはどうか。**市長** 八幡平市の畜産行政の中で、中長期的な視点に立った公共放牧野のあり方を検討したい。

遠藤議員 飼料用米の作付面積は増えているが、良質な粗飼料確保のための稲発酵粗飼料(ホールフロップサイレージ)の作付けは。**市長** 本年度は22珍の作付けが行われており、10ヶ当たり8万円の交付金が支給されることになっている。

農政課長 処理する機械が1セット1300万円と高額であり、導入後の事業計画を考慮慎重に進めたい。**遠藤議員** 農家の省力化やコスト低減につながる周年預託施設が望まれる。**市長** 事業を凍結していたが、和牛を取り巻く環境は変化している。関係団体と一丸になって取り組まなければならぬ事業である。**遠藤議員** 農家の労力軽減や飼養頭数の維持拡大には施設導入が必要ではないか。**農政課長** 設置検討委員会を立ち上げ再度検討を進めていきたい。



北口 和男 議員 (無会派)

災害を最小限に課が必要 本庁舎を拠点とした市政



一定のサイクルで発生する安代地区の災害防止が重要

北口議員 安代総合支所の課を廃止する行政組織機構改革案が示されたが、住民の多くは現状維持を望んでいる。3年から5年サイクルで豪雨災害が発生しているほか、林業関係の現場の大部分は安代地区である。災害防止と産業振興が重要

であり、住民サービスを考え、土木林業課が必要ではないか。**市長** 本庁舎を拠点とした効率的な組織への再編を進めていくものであり、本庁舎には産業振興など調査、企画機能を集約し、安代総合支所が維持管理機能を引

き続き担当することにより、役割を明確にしようとするものである。安代地区は地理的条件や災害対応もあることから一定数の職員配置が必要と考えている。今後とも市内全域の均衡ある振興を図りつつ、人材の適正配置に努める。

北口議員 県内13番目の市である八幡平市が今後さらに発展し、盛岡以北の拠点を目指すため、部制を残して市職員の育成や指導、市民の福祉向上に努めるべきではないか。**市長** 新庁舎が完成し、一体となって執務を行える環



高橋悦郎 議員 (日本共産党)



八幡平の大自然の景観が危ない！ (写真=北杜市太陽光発電を考える市民ネットワーク提供=)

景観条例を見直し強化 規制できる条例を検討

古川議員 八幡平温泉郷のプータロ村跡地に太陽光発電施設の建設が進められている。太陽光パネルが敷き詰められると、あの一帯の景観が大きく損なわれる。今後も類似の施設が建設されると、温泉郷は観光地として大きなダメージを受け

る。早急に景観条例を改正して、何らかの規制をすべきではないか。
市長 太陽光発電はあの場所にはなじまないという思いから、規制できないか検討したが無理だった。議会とも協力して、規制できる条例の制定を検討したい。

古川議員 豚舎建設計画の中止を求める請願が出されているが、環境基本条例に照らし合わせた場合、悪臭を発生させる恐れがあり、条例が定める事業者の義務に抵触するのではないかと思われる。どのような指導をしたか。
市民福祉部長 悪臭防止法との関係から、地域住民とのトラブルが発生しないように、協定を結ぶよう意見を付して申請者に回答した。

古川議員 八幡平市商工会が取り組んでいる全国展開
支援事業の松尾鉦山観光資源化プロジェクトに対して、市はどのような支援をしていくか。
市長 来年度以降も事業経費の一部負担を継続するほか、観光関連業者と旅行者、旅行関連業者をつなぐ組織の立ち上げを推進したい。



米田定男 議員 (日本共産党)



第1回総合計画審議委員会 (平成26年10月21日)

基本構想策定経過に問題 内容を吟味した上で提案

米田議員 八幡平市総合計画市基本構想は、今後10年間の市政の基本的な方針を定める極めて重要な存在である。11月の議員全員協議会で説明された当初案の序論は、このようになつたか
市長 序論については、現在の基本構想を基礎に検討する中で、人口減少やそれに伴う地域経済の課題などを踏まえた現状を勘案して原案とし、パブリックコメントや議員全員協議会での意見をもとに再調整を行い、内容を吟味した上で本議会

に提案したものであることはご理解いただきたい。
米田議員 序論の文章のうち、約3分の1が第1次総合計画基本構想と同一の文章となっている。
企画総務部長 10年前の八幡平市と現在の八幡平市で変わらない部分もあること

から、同じ表現になったものである。
米田議員 10年前と同じ状況があるとすれば、10年前の方針が正確でなかったのか、正確であったが施策が不十分だったのか、市政以外に原因があったのかなど原因を分析して、今回の

策定の方針に反映するのが当然である。そもそも正確といわざるを得ない10年前の文章が、今回も使用されている部分がある。総合計画基本構想の策定を担当したのは市の中枢部であり、事態に正面から向き合うべきである。



高橋悦郎 議員 (日本共産党)



狐塚市有地の活用を

思い切った人口減対策 可能なものから予算化

高橋議員 八幡平市の人口ビジョンとまち・ひと・しごと創生総合戦略は、市の最大の課題である人口減少にどうやって歯止めをかけるかの計画である。計画で目指す人口の将来展望は、市長 2040年には国立社会保障・人口問題研究所

が推計した人口より2335人多い1万8800人を目標人口とした。
高橋議員 期待していたよりも低い目標と感ずるが、市長 具体的には、40年には合計特殊出生率を2.07、全体の転入転出が同じになる推計をした。

高橋議員 目標人口を実現するためには、子育て世代への思い切った支援の施策展開が求められるが、どのように取り組むか。
市長 4月から子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡大する。保育所の待機児童解消は、保育士資格者の

活用と家庭的保育の取り組みで早期に解決したい。さらにこれまでに以上に、妊娠から出産までの総合的支援の拡充に取り組みたい。また、結婚するきっかけづくりや出産への環境づくりのプロジェクトにも力を入れていく。
高橋議員 転出を減らす方策として、盛岡圏への通勤が便利な大更の狐塚市有地を安価で若い世帯に供給する宅地整備の考えは、市長 当然そのことを視野に入れて、狐塚の市有林の伐採をした。今検討しているところである。